

樹 姉 ば よ う

No.172
2019.2



鏡開きの奉納演武（少林寺拳法部）

慈悲喜捨

日本では、バレンタインデーに女性から男性へチョコレートなどを贈る習慣があります。その由来は、三世紀のローマへさかのぼります。

ローマ皇帝「クラウディウス二世」は、若者が結婚することを禁じていました。その理由は、兵士となる若者が家族を持つと戦意が削がれてしまうということでした。しかし、キリスト教徒であったバレンタインは、若者達の将来を憂いて密かに結婚をさせていました。やがて、バレンタインの行いが発覚すると、皇帝はバレンタインを処刑しましたが、その日は二月十四日でした。

それから二百年の後、ローマでは、二月十四日に独身の男女がくじ引きでつきあう人を決めるというお祭りが行われていました。社会の風紀が乱れることを心配したキリスト教会は、このお祭りを廃止してキリスト教の殉教者を祀（まつ）るお祭りへ変えようと考えました。その時に選ばれたのは、二百年前に若者のために命を落としたバレンタインでした。その後、二月十四日は恋人達がギフトやカードを贈り合う日として

定着していきました。また、日本では、製菓会社やデパートなどが様々な宣伝活動を行った結果、一九七〇年代になって「女性から男性へチョコレートを贈る日」として定着しました。

このキャンペーンは、「女性から男性へ」という斬新なキャッチフレーズと共に、高度経済成長を果たした日本におけるバレンタインデーの起源となりました。「女性から」というキャッチフレーズには、デパートで買い物をする人が圧倒的に女性だったことや、アメリカの「ウーマン・リブ運動」の影響を受けて、「女性ももっと意見を」という、時代の風潮がありました。そして、「人としての平等」という概念が、あらためて日本社会へ浸透していく機会となりました。

私たちの生きる現在、過去の出来事を基にして、様々なことが改善された社会や生活環境があつて成り立っています。故事は、私たちが継続すべきことや、教訓とすべきことを示しています。一つでも多くのことを学び、今後の糧（かて）となるものを得るようにしましょう。

教頭 金安伸一

大川美術館館長を 思い出して

樹徳中学校・高等学校校長
野口 秀樹



高校三年生は自宅学習に入ります。進路決定に向けて必死に大学受験に取り組んでいる生徒達も沢山あります。私も彼らにエールを送りたいと思います。高校一年生は新潟県湯沢スキー場でスキー教室が行われます。多いに楽しんで欲しいものです。

桐生市には大川美術館があります。これは大川栄二さん（一九二四―二〇〇八）と言う方の個人コレクションからスタートしました。

大川栄治さんは、ダイエーの副社長、ダイエーファイナンス、サンコー（現マルエツ）、二つの会社の社長、会長（すべて一部上場企業）を務め

た方で、桐生市出身の大成功者なのであります。桐生高専（群大工学部の前身）を卒業後、三井物産に就職しますが、入社半年後に肺結核で四年間の入院生活を送ることになります。

これはご本人の言葉ですが、スタートで出遅れた人生だったそうです。でもこのハンデを見事に跳ね返し、実績を治めるのが大川さんの素晴らしいです。一流の経済人にお会いする機会はなかなかありませんが、お元気な頃の大川さんに何度かお会いしました。その時、いつも身体からオーラが出ていたことを感じておりました。歯に衣着せぬ物言い、嘘をつかない、そして情熱家。初めは怖い感じが致しましたが、実に温かい人でありました。独特の語り口を私は大川節と呼んでおりました。

大川さんと絵画との出会いは、四年間の闘病生活の中ででありました。

世の中が混乱し、皆が貧しかった終戦直後、一流画家と言えどもほとん

ど仕事がなかった。そこで画家達は頼まれて週刊誌の表紙と絵の解説を書いていた。大川さんはこの表紙を集めたのだそうです。そして部屋中に飾り、見続けていた。ここで絵画への深い愛情と鑑賞眼が培われるのです。

その後も、自分の部屋に飾るために、少ない給与の中で大好きな絵画を購入するのです。するとドンドン増えていき、絵画が沢山飾れる窓のない部屋へ何度も引っ越しを繰り返した。

そして大事な事に気づいたそうです。名画は見ていて飽きない絵だ。一つの間に関係業者にもライバル社にも大川という男は「絵画キチガイ」だという噂が広まったそうです。

約四十年にわたって収集した日本・海外の作家のコレクション、結果的には約六千五百の絵画を所蔵することになりました。その中にはピカソ、ミロ、ルオー、モディリアーニ、ベン・シャーンも含まれております。

平成元年、桐生市の支援を頂きながら、公益財

団法人大川美術館がスタートいたしました。三十六才で早世した日本の洋画家、松本竣介に關しては、国内屈指の美術館と知られており、皇后陛下もご来館されております。

今、大川美術館は市民にとりまして文化的な財産の一つであります。樹徳高校でも、情操教育の一環として三十年近く、一年生全クラスが大川美術館に出かけてまいります。大川館長がご健在の頃は、毎回三十分、お話を聞いてから、絵画を鑑賞したのであります。絵画の見方、画家の解説があると絵画への理解が深まります。高校生には良い経験になっております。

大川さんの三回忌の時に奥様が出版した『暖め鳥』といういう著書を頂戴しました。勿論ご主人の大川栄二さんのことが書かれた本であります。一晩で読み終わりましたが『暖め鳥』のタイトルを気に入りました。「ぬくめどり」と読みます。

鷹は厳寒の夜、爪の間に挟んだ小鳥で暖をと

り、明け方になるとその旁に報いてか、そのまま放しやる。その小鳥をぬくめ鳥というのだそうです。

「ぬくめどり」を私は調べてみたのですが、どこにも見つかりませんでした。奥様は、ご主人にとって郷土桐生がぬくめ鳥だと思われて命名されました。何かとっても素敵な話であります。

大川館長さんは厳しい方でありましたが、樹徳教育をいつも応援して下さい方でした。お亡くなりになってから十年、いまだに大川美術館には生徒達がお世話になっております。懐かしく大川栄二館長を思い出させて頂きました。

合掌



大川美術館（Wikipedia より）

学んだことを形にする

言葉のあれこれ

テレビのCMで、娘「これヤバイ！」父「そのヤバイって言い方やめなさい。」母「このドラマ、ヤバイのよね！」父「……。」母「ねーヤバイでしょ！」父「……そうだね……。」確かこのような会話があったような気がします。若者が会話の中でよく「ヤバイ」という言葉を口にするのを聞きます。「これ、やばくね？」「超ヤバイよー！」といった具合に、です。特に多いのが食べ物に関する場面でしょうか。「ヤバイ（ウマイ）ー！」というところで用いているようです。我々オヤジ世代は、何とも違和感を覚えて仕方がありません。というのも、「ヤバイ」を肯定の意味で使っているからでしょう。「ヤバイ」という言葉は、もとは犯罪者が使っていた

もので、それが一般にも広まったということ。悪事が警察にバレてしまい、踏み込まれそうにそうになった時に「ヤバイーサツだー！」のように使うものでした。つまり、この言葉は、「危険だ」とか「まずいことになる」のように、悪い意味、否定的な意味で用いられていたものです。ですから、現代の若者が「面白い」や「美しい」、「凄い」といった褒め言葉やプラス評価を表す表現として、肯定的な意味で使用しているのは、どうかと思ってしまうわけです。かつて犯罪者の集団が隠語として用いていた言葉が、その反対の意味で用いられ、氾濫しているのですから。ただし、言葉の意味の変化を否定するつもりはありません。言葉は、時代とともに変遷し、現代に至っています。例えば「煮詰まる」という言葉。もともとは「意見が十分に検討されたり、議論が尽くされたりして、結論が出る段階に近づくこと」を意味します。ですから「話が煮詰まった」は本来、「間もなく結論が出る」ことになるはずなのですが、現在では、「行き詰まる」の意味で用いられています。

「役不足」なども同様です。現在では、役不足ではありませんが、大役を仰せつかりましからは全力で「など謙遜気味に使われますが、本来この言葉は「自分の力量に対して役目が軽すぎる」という意味です。この場合では「力不足ではありませんが」と言うのが適切で、「役不足」としてしまったら、謙遜どころか「自分の力量に対して、役目が軽すぎる」と不満を表明していることになってしまふのです。他にも本来の意味ではなくなった言葉はいくらもあり、「気が置けない」などもその例です。「あの人は気が置けない人だ」と言われたら、どのような人のことを想像するでしょうか。「気が許せない人」とか「油断できない人」と考え

るのではないのでしょうか。しかし本来は、「気が置けない」は「気を遣ったり、遠慮したりする必要がない」という意味ですから、「安心できる人」「心を許してつきあえる人」という意味です。言葉は、その表記、発音、意味が変化しながら現在にいたっています。古典を勉強している、古今異義語の多くはそれにあてはまるものです。言葉は本来「意味や意図、意志を伝える」ことが目的の「道具」ですから、もとの意味と異なっても、伝達が成立すればそれは正解ということなのでしょう。時代によって、使

化していくのは、正しいことと言えます。となると、オヤジ世代の違和感は、本来、筋違いなのかもしれません。しかし、何を見ても「ヤバイ」の風潮には、日本語の未来に少なからず不安を覚えます。日本語の持つ美しさや繊細な表現、豊かさは、本来の意味まで含めて学習してこそ、身につくものだと考えるからです。「言葉は時代が変えていく」ものだと思います。私たちが現在使い、学ぶものが、そのまま未来の日本語の在り方につながっていくのです。そんな視点を忘れない、言葉に関わっていくたいと考えています。(編集子)



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター「み法」2月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん 7, 21日(木)
- (2) 七草ゼミナール塾
主催 上野文雄さん 27日(水)

IACの歳末助け合い募金 七十五万円を納金！

『歳末助け合い』

募金活動を終えて』

IAC会長

六年一組 木村 泰史



平成三十年十二月三日から二十三日までの間、私たち樹徳高等学校インターアクトクラブは、歳末助け合い募金活動を行いました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店、境野店さん前で行いました。約一ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は七十五万四千五百三円となりました。おかげさまで、多くの方々から浄罪をお預かりすることができました。

ご支援いただきました方の中には、毎年私たちが活動していることを覚えていて下さり、この日のために一年間蓄えた多額の浄財を募金して下さいました方もい

らっしゃいました。

私たちは今年の歳末助け合い募金活動を担当していますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であると感じました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年の十二月二十七日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後ともこの活動へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

合掌



□ センター試験出陣式

新年を迎えた一月十一日、いよいよ迫る今年のセンター試験の前に、学校長からの激励の言葉をいただいた後、三年K組の関口悠真君から決意表明がなされました。それぞれが三年間培ってきた学びの全てが、存分に発揮されることを願います。



桐生市社会福祉協議会への納金

□ 校内書き初め大会

一月八日、校内書き初め大会が盛大に開催されました。参加者それぞれが「書き初め」を通じて、健全な身体と豊かな心情を養い、併せて、伝統文化への理解を深める新年恒例の行事です。



それぞれの筆に思いを込めた書き初め。

□ 鏡開き

鏡開きとは、神仏に感謝し、お供え物を頂くことで、一年間の無病息災などを祈るものです。

今年は少林寺拳法部OG、渡邊さんと川田さんによる「奉納組演武」が披露されました。またその後、家庭科コースの生徒が各運動部の活躍を願い、おいしいお汁粉を振る舞いました。



渡邊眞紀さんと川田理桜羅さんの演舞



○学校長賞・青木花梨

○最優秀賞・新井詩織



伸びるお餅のように...



結果も伸びますように。

受験生へのメッセージ



進学コース・一貫校の担任団から、受験を迎える三年生へのメッセージです
全員が目指す進路に合格できることを、全職員も祈っています

三年SS組担任 広井 勉

この時期に最も大切なことは、自分の力を信じること。自分の学習の足跡であるノートを読み返し、使い慣れた問題集等を解き直してみてください。受験生のみなさんに満開のサクラが咲くようにお祈りしております。以下に受験生の心得三つを樹妙の言葉と合わせて伝えます。

① 平常心

「朝は遠くない
耳をすませ

心をしずめよ」

「心静かに

こだわらず

とらわれず」

② 感謝

「幸福

あたりまえのことに感謝
できれば幸せはくる」

③ 最後まで絶対に諦めない

「己にかつ

おのれより大なる

敵はない」

「急がず休まず 諦めず」

三年K組担任 金田 啓志

とうとう受験本番に突入ですね。高校生活もあと一ヶ月となりました。これまでの積み重ねを、余すことなく発揮してください。後悔をしないために、今、全力を出しましょう。やれることはすべてやった、これ以上はない、と自分で自信を持って言えるように、残りの時間に取り組んでください。苦しいのは皆一緒です。三年間ともに過ごした最高の仲間と乗り越えていこう。

家族の支え無くしてここまで来ることできませんでした。また、一番応援してくれているのも家族です。感謝の気持ちを忘れず、良い形で恩返しできると良いですね。
先生、合格しました！のとびきり笑顔での報告を待っています。

三年k組担任 金田 千佐

「努力は必ず報われる」

この言葉は、元AKB48

の総監督、高橋みなみさんが発言していたことでも有名です。

私はこの三年間、皆さんが一生懸命学習に取り組んでいる姿を見ってきました。その頑張りには本当に感心させられるものであり、この努力が結果として実って欲しいと切実に思っています。

なかなか思うような結果が出ないこともあるかもしれませんが、努力はくしては悔しいという気持ちも生まれるはずもあります。しかし、次に繋がることもないので。

残り一ヶ月。これでもか！と力を出し切ってみてはいかがでしょうか。きつと応援してくれる人の温かさにも触れることができるはずです。

三年S組担任 村上 大祐

入試当日、誰でもいざ試験となれば緊張はピークに

達する。そんな時、いつも通りの平常心で試験に臨めればベストな状態で試験に対処できるだろう。

もし君が高ぶる緊張を抑えたいなら、これまで繰り返し努力してきたボロボロの受験参考書でも見ていればよい。自分がこれまで努力してきた日々が思い返され、内容を確実に理解している自分に気づくはずだ。

試験は時が来れば始まり、時が来れば終わる。いわば限りある苦しみだ。しかも、心のざわつきは試験が始まるまで。試験が始まればいつも通りの平常心が戻ってくる。後は今の君にできる全てを存分にぶつけてくる。ただそれだけ。

六年一組担任 福田 肇

長い人生の中で、あなたの努力が努力した分だけ一〇〇%反映される機会は受験くらいです。就職活動では、自分の努力も多少報われますが、あなたの人脈や面接官の印象、その時点の景気によって変動する採用人数、年齢など、あなた自身の力ではどうにもならない不確定要素が必ずつきまといまいます。恋愛に至って

は、どんなに努力しても相手が好きになつてくれなければそれまで、努力をまったくしなくてもモテるやつはモテます。受験では正しい方向（つまり①ルールの習得・②個別の問題に対するルールの応用の技術の習得）でした努力は必ず一〇〇%報われます。どうかベストを尽くしてください。

六年二組担任 荻野 高子

未来は誰にも分かりません。分からないからこそ、その不安を乗り越えるために今まで頑張ってきたはずです。もう少しです。最後まで諦めず頑張ってください。そして新しい世界を切り開いてください。努力が実を結ぶことを祈念しています。

受験体験はこれからの人生においても貴重な経験となるはずです。受験が落ち着いたら、大変な時期を共に戦った仲間達と健闘をたたえ合い、見守り支援してくれた家族に感謝しましょう。第一志望校合格が自分にとって一番のご褒美、家族にとって一番の恩返しになるでしょう。

一貫校

中学校

だより

キラッと光る樹徳生

小さな親切ありがとう

昨年十二月末、伊勢崎在住の女性から一本の電話がありました。

一貫校高一の男子生徒に、親切を受けたことへのお礼の電話でした。友人宅へ向かっていった女性が、道がわからず困っていたところ、S・Sくんが道を教えてくれただけでなく、いったん別れたにもかかわらず、自転車に戻ってきて訪ねる家と一緒に探してくれたということでした。

「こころ」は

だれにも見えないけれど

「こころづかい」は見える

「思い」は

見えないけれど

「思いやり」は

だれにでも見える

東日本大震災後、A/Cジャパンの意見広告ですっかりなじみとなったこの言葉は、埼玉が生んだ詩人宮澤章二さんの「行為の意味」から抜粋要約されたフレーズです。その語りに、車

中で妊婦に席を譲る女性を見かけた高校生が、自らも、街でお年寄りの手を引く光景が描かれています。

大惨事に遭遇しながら節度を失わず、悲しみに堪えて譲り合う被災者の振る舞いに、海外からも驚きと称賛の声が寄せられました。そして、私たち日本人にも、本来のあるべき姿、日本人の誇りを思い起こさせてくれました。

人に優しくしたい、人を助けてあげたいなどの気持ちを誰にでもありますが、日常生活の中で自分の思いを具体的な行動に移すことができない方も案外多いのではないのでしょうか。誰かに親切にすることは、人によつては、ちよつぱり勇気を伴うことなのかもしれません。しかし、親切つて、される側だけでなく、する側にとつても気持ちがいい行為なのです。

思いやりや美しい気持ちは、行為になってこそ、人の心を打つことができるのだということ、男子生徒の行動から改めて感じさせられました。

(副校長 澁谷和郎)

◆校内マラソン大会

十二月十四日(金)寒

空の下、渡良瀬川河川敷においてマラソン大会が開催されました。

強風の中、生徒たちは全力を尽くして走っていました。



結果

男子(四km) 一位

図子田 侑(三年)

女子(二km) 一位

安井 結和(二年)

◆音楽部定期演奏会

私たち音楽部は、十二月二十三日、第十回定期演奏会を開催しました。クリスマスや年末の時期でお忙しい中、たくさんのお客様にご来場いただきました。二年前より会場を樹徳中学校講堂に移しての開催となりました。八名という限られた部員数での開催は、準備から本番に至るまで様々な困難がありました。たくさんの方々を支えられ、無事にお客様をお迎えすることができました。本番では合唱とデュエットを合わせて十一曲披露しました。終演後はたくさんのお客様か



らお褒めの言葉をいただき、本当に嬉しかったです。当日お手伝いや応援に来てくださった先輩方、友人達、いろいろな場面で協力してくださった先生方や保護者の方々に支えていただき、演奏会を成功させることができました。ありがとうございます。この三年間、音楽部員として得た経験は、私にとって一生忘れられない思い出となりました。この経験をこれからの生活にも生かしていけたらいいと思います。

(三年 高橋奈々)

◆樹徳中学校第3期入学試験 平成31年2月9日(土)

出願期間

2月6日(水)～2月8日(金)

科目 国語・算数・面接

○お問い合わせ先

TEL 0277-45-2257

幼稚園だより

「寒さに耐え、花を咲かそう」

寒さが最も厳しい季節を迎えましたが、子どもたちも元気で、室内でも園庭でも、フル回転で遊んでいます。雪や氷、霜柱などに触れるのも冬の大切な経験、折々の自然に親しみ豊かな感性を育んでいます。

この時期は「先生、この帽子きつくなってきたよ!」「上履きが小さくなったよ!」と、子どもたちの言葉から、心身ともに一年の成長を実感します。



「雲梯」に挑戦!

樹木は生命再生の力を冬芽に蓄え、寒さに耐えて、春には葉を茂らせ、花を咲かせます。今年度も残り二ヶ月。二月から三月は、卒園・進級に向けて、子どもたちの成長を確認し、総仕上げの時期となります。仕上げるように花を咲かせられるよう、子どもたち一人ひとりの確実な成長への支援に、全力投球してきたいと思います。

移動音楽教室「群響 ぴよぴよコンサート」

樹徳幼稚園母の会による「教養講座」、群馬交響楽団による移動音楽教室「ぴよぴよコンサート」が、一月二十二日(火)に本園遊戯室において開催されました。

「子どもたちに生の演奏を聴かせたい」という夢が叶って、保護者とともに楽しみにしていた演奏会でした。幼児にもわかりやすいクラシック曲や、一緒に歌ったり身体表現したり、楽器体験(ヴァイオリン・チェロ)等、楽しい時間を



ぴよぴよコンサート

を、親子で共有することができました。

群馬県の補助事業で開催され、「幼児の段階から音楽に親しみ、音楽の楽しさを体験することで、芸術を愛する心や創造力を育て、音楽への興味・関心を育てる」という目的や、子どもたちが、体験を通して音楽の楽しさを実感できた、素晴らしいコンサートとなりました。

体力づくり

「遊具に挑戦」

今年度、年中(さくら組)さんが、遊具に挑戦しての体力づくりや、達成感

味わえるようにと、雲梯・ジャングルジム・鉄棒・登り棒など、園庭にある遊具等を利用して、「がんばりカード」に結果を記録するなど、今も継続して取り組んでいます。「先生、見て、見て」と、園庭から大きな声、どの子も目標の達成に向けて、意欲的に取り組み、大きな成果を上げています。

「継続は力なり」

子どもたちは継続して取り組むことにより、確実に力をつけ、さらに自主的に取り組むようになって、園生活における大きな自信にもなっています。

保護者が迎えに来ると、「雲梯やっていい?」と、走っていき、母親にできるようになったことを見せ、「もう一回、もう一回」と挑戦するなど、忙しい母親を困らせる場面もしばしば



間近で聞くヴァイオリンに感動!

です。

また、保育者と一緒に行った動きを、友だちと一緒に再現したり、自分で考えて工夫しながら楽しんで遊具で遊ぶようになりました。

幼児は毎日六十分以上楽しく体を動かすことが大事だと言われています。子どもの興味や関心に基づいた遊びを通して、運動できる環境の充実や、家庭との連携・協力を通して、この取り組みを発展させ、子どもたちの体力・運動能力の向上につなげていきたいと考えています。

ご支援・ご協力よろしく
お願いいたします。

園長 瀬谷 茂

入園願書受付中!

○三十一年度入園願書(二・三歳・転入園)を、随時受け付けております。(三月末日まで)

―二月の予定―

※新入園児入園説明会

二月八日(金)

―一〇時三〇分―

※新入園児体験入園

二月十九日(火)

―一〇時三〇分―

○見学はいつでもできます。

お出かけください。

※連絡先

〇二七七一五三一五五七一

<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	金	一般・ステップアップ入試会場作成 大掃除	学力推移調査③(中1)	
2	土	一般・ステップアップ入試		
3	日	一般・ステップアップ入試採点	中学校範囲確認テスト(中3) 学力推移調査③(中2) 節分会(中1大善寺)	登園日 節分会(大善寺)
4	月	2/2 振替休日	2/3 振替休日	節分会代休
5	火	2/3 振替休日 授業料納入日(3年2・3月分) 第3回諸費納入日	授業料納入日 土曜出勤振替休日	保育料納入日 読み聞かせ(西山先生)
6	水	一般・ステップアップ入試審査会 3年担任宛成績提出	願書受付(～8日)	英語(全)・文字と数(年長)
7	木	3年教務宛成績提出 県校長会		特別保育・教育施設指導監査 体育(全)・文字と数(年中)
8	金	3年一斉指導 マイトリー基金抛金日 卒業褒賞関係候補者選考会議	ニュース検定② 一期・二期併願入学手続締切	入園生活説明会 母の会新年会
9	土		第三期入学試験	
10	日	堀マラソン大会	堀マラソン大会	
11	月	建国記念の日		
12	火	3年家庭学習開始 1年スキー教室一斉指導		涅槃会(大善寺) 教生受入(～18日)
13	水	ベネッセ実力診断テスト 卒業成績会議 一般・ステップアップ入試合格発表日	スキー教室(～15日) 第三期合格発表	英語(全)・文字と数(年長)
14	木	後援会役員会④		体育(全)・文字と数(年中)
15	金	涅槃会 県私学保護者連合会理事会(関東学園)	第三期入学手続締切	お誕生会(2・3月生まれ)
16	土	数学検定②	数学検定③	
17	日	全経簿記検定③		
18	月	LHR 食育の日		リズム(全)・線(年少)
19	火	1年スキー教室A班(～20日)		新入園児入園体験日
20	水			お茶のお稽古(年長)⑦ 英語(全)・文字と数(年長)
21	木	1年スキー教室B班(～22日)	立志式	体育(全)・文字と数(年中)
22	金	制服アフターサービス	三越アフターサービス(新4年生採寸)	設置者・園長研修会・臨時総会②
23	土	第2回入学手続き	入学説明会②	
24	日	英語検定③二次 日商簿記実務検定③	英語検定③二次	
25	月	朝礼		リズム(全)・線(年少)
26	火			年少々・年少保育参観 ボール投げ教室 読み聞かせ(西山先生)
27	水	卒業式会場作成 大掃除		年中保育参観 英語(全)・文字と数(年長)
28	木	卒業式予行演習 予餞会 出欠統計提出		年長保育参観 体育(全)・文字と数(年中)

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

[Web] www.jutoku.ed.jp [Mail] office@po.jutoku.ed.jp

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業株

夢は大きく 根はふかく